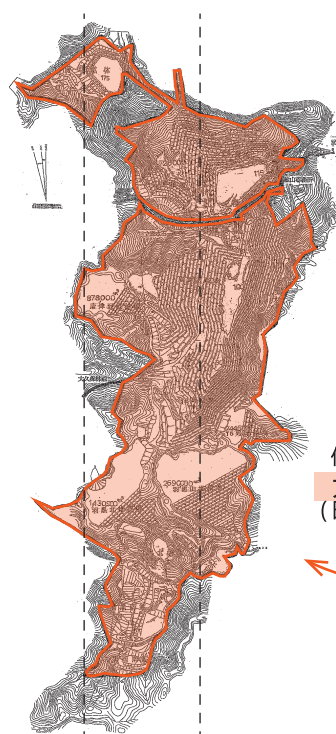


日立市が候補地となってしまった巨大な 県産廃最終処分場の建設を止めるため

3 計画予定地が市の中心部にあること

候補地となった諏訪町太平田鉱山は、日立市で最も人口密度の高い多賀地区にあり、その位置はほぼ日立市の中心。市街地をほぼ毎日産廃車が通り抜け、そして多賀山地からの風に乗って、汚染は市全体に及びます。さらに「風評被害はある」と県からの回答にもある通り、農産物や海産物への影響また土地評価額など、住民の個人資産価値下落の懸念も広がっています。

7つの理由とともに署名活動をしていきます



候補地となっている
太平田鉱山跡地
(日立セメント社有地)
1,372,998 m²

0 200 400 600 800

約500m



同規模の施設と説明されている
エコフロンティアかさま
286,000 m²

5 原子力災害の時のこと

今回の計画地は東海第二発電所で原子力災害が起こった場合緊急防護措置を準備する区域 (UPZ) にあたります。もし原子力災害が発生した場合、この施設をコントロールすることが困難となり、処分場としての機能も失うこととなりますが県としては「UPZ への建設に法的な規制はない」としています。

6 一度作られてしまうと今後100年以上に渡って 施設が巨大化していく可能性があること

今回の処分場は、前例となる県の施設「エコフロンティアかさま」と同規模の計画と説明されています。しかし太平田鉱山跡地は、その面積も深さも数倍あり一度この場所に処分場が作られると未来にわたり拡張され続ける恐れがあります。

日立市在住でなくても 茨城県在住でなくても
この署名活動にご参加いただけます
県外や海外からもこの計画に疑問の声が聞かれています
署名を大きな声にして 県へ市へ届けていきます

1 道路のこと

県より説明された処分場へのルートは日立市の中心を通行するもので、この処分場がもし本当に作られた場合の通行量は1日あたり、大型車は200台以上中小含めると500台もの産廃車などが20年以上通行することになりますが「交通アクセスは幹線道路利用により良好」と県の評価は高いものとなっています。ルート上には学校や幼稚園、保育園、病院や介護施設もあります。市内全域の渋滞悪化や交通事故の増加が懸念されています。

7 国内最古の地層が確認された学術的価値ある場所であること

世界ジオパークに認定された新潟県糸魚川市にあるフォッサマグナミュージアムには「日立市諏訪町 太平田鉱山」が3億年～3億6千万年前の地層として展示紹介されており、太平田では現在も化石の発掘調査が行われています。そして日立から常陸太田にかけては日本最古のカンブリア紀の地層や岩石が現れる唯一のジオサイトとして、全国的にも注目されている場所です。世界的に発信すべき学術的価値のある場所を巨大なゴミ捨て場にして良いのか、問われています。

4 水のこと、そして沢に作られるということ

処分場にも雨は降り、その雨は埋立てられた廃棄物を通して浸出水となります。この浸出水には様々な有害物質が含まれ、敷地内にある処理施設に運ばれます。この浸出水がすべて処理施設へ送られるためには、埋立地の底に敷設される「遮水シート」が重要な役割を果たしますが「シートの耐久性は50年」と県の説明にある一方で、シートが廃棄物や浸出水に接触した際の耐久性データはありません。調べてみると、数万トンになるゴミの圧力や紫外線による劣化などを考慮した耐久性目安は15年というデータが見つかりました。（日本遮水工協会の「遮水シート規格解説」より）何より、一度埋められた廃棄物は50年を遥かに超えて、永遠にその地に残されることとなります。さらに、シートの耐久年を待たずして遮水シートが破損する事故も全国で多発しており、大きな問題となっています。

今回の候補地は「唐津沢」という、地形的に水が溜まり流れる場所です。水の通り道へゴミを埋立てるとということ自体、本来なら考えられないことです。処分場へ降った雨は浸出水以外にも、「表面水」として処理されずにそのまま周辺へ流れていく水もあります。今回の県の計画は「管理型処分場」という「有害物質を埋立てることを前提とした施設」であり、災害や事故でそれら有害な物質が漏れ出た場合、水の流れに乗って周辺住民の生活環境、その下流や海へ影響が出ることが考えられます。近年、全国で頻発しているような大雨が降れば、切り立った谷である現地では大規模な土砂崩れが起こる事も想定され、その場合は施設ごと壊れる可能性も否定できません。

2 処分場の環境汚染のこと

笠間にある産廃処分場の地下水から本来は自然界に存在しないダイオキシン類や大腸菌類が検出されています。これについて県は「基準値以下で心配ない」と説明しています。本来であれば存在しない猛毒と言われる物質。環境基準とは一体何でしょうか？

確かなことは「基準値以下だから安心」という事では決してない、ということです。

県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

連絡先	荒川照明	090-9845-7019
署名送り先	数藤まち子	〒316-0001 日立市諏訪町 5-24-7

会員を募集しています！寄付も大変な力になります！

常陽銀行	多賀支店	普通 1995334
		「県産廃処分場反対連絡会」
		(サンパシヨブシヨウケンタイレンラクカイ)

署名用紙はホームページからも
ダウンロードできます！

<https://voice2020.bona.jp>

